

市立大学校舎耐震改修工事の実施について

以前から評価委員会よりご指摘いただいておりますが、市立大学校舎耐震改修工事について、下記のとおり実施することになりましたので、ご報告いたします。

評価委員会からの過去における指摘等

「耐震工事の優先順位の検討にとどまり、自主財源も含め工事財源の確保策の検討はできなかった。」

（平成 18 年度業務実績に関する評価結果より）

（川澄・山の畑キャンパスの耐震改修工事の実施について）「引き続き名古屋市と協議を進め、早急に対応することが望まれる。」

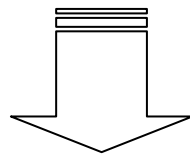
（平成 20 年度業務実績に関する評価結果より）

「建物の耐震については、早急に取り組むべき重要な課題であり、協議を早急に進められたい。」

（中間総括にかかる進捗状況報告書に関する評価委員会意見書より）

「山の畑キャンパスには、耐震診断により、程度は異なるものの、現行耐震基準を満足しないため、耐震対策の必要性があるとの評価を受けた建物が合計 6 棟あるが、優先順位を踏まえ、財源を確保し、今中期目標期間中に部分的着手を行うなどの具体的方策がまだ確定していない。」

（平成 21 年度業務実績に関する評価結果より）



対応

年度計画において、耐震診断で評価Ⅱ－２（優先的に耐震対策の検討の必要がある）とされた建物の耐震改修工事等を行うとしていたが、本市の 9 月定例会において、評価Ⅱ－１（原則として耐震対策の検討の必要がある）とされた建物の耐震改修工事について補正予算を計上した。

この結果、耐震対策が必要とされていた市立大学のすべての建物について、必要な対策が図られることとなった（工事の完了予定は、平成 25 年度）。